



▲実体験から得た「気づき」を新たな発想へと結ぶ

▲講師の情熱が学生たちの心を打つ（コンカリーニョ/札幌市西区）

学生国際合宿セミナー  
2013～夏～

2013.8.19 発行

広報紙

TAKE FREE

ご自由にお持ちください



### 12日間の暑い、熱い夏。

姉妹・友好都市青少年未来プロジェクト「学生国際合宿セミナー2013～夏～」は、前身となる「日米露学生集中講座」が1992年に開催されて以来、20余年の歴史を誇る、グローバル人材育成事業。会期中の一般公開プログラム（現在受付中）は、参加学生との交流のチャンス！

- ★主催★ 札幌市、(公財)札幌国際プラザ、札幌姉妹都市協会
- ★会期★ 8月11日(日)～22日(木)
- ★テーマ★ 国際都市の可能性～文化と観光を通じたにぎわいの創造を考える
- ★参加者★ 総勢35人(留学生3人を含む札幌圏の学生20人、米・韓・中・露5カ国の姉妹都市からの学生15人)
- ★公開プログラム★ 8月19日(月)夜、22日(木)夜に実施。詳細は下記 ☎ ☒ WEBにて

【企画/制作】公益財団法人札幌国際プラザ

札幌市中央区北1条西3丁目 札幌MNビル3階

☎011-211-2105 ☒sicpfecc@plaza-sapporo.or.jp

http://www.plaza-sapporo.or.jp

## 「仲間とともに困難を乗り越える、 その姿に共感を覚えます。」

— <sup>グオン</sup> <sup>ミ</sup> <sup>ヒ</sup> 権美姫 さん

韓国・ウソン大学国際経営学部国際経営学科2年

合宿セミナー開講から6日目を迎え、厳しい蒸し暑さに負けず意欲的に取り組む学生たち。8月16日(金)は、セミナー前半に集中している視察・体験プログラムの締めくくりとなる日。午前中に学生たちが訪れたのは、JR琴似駅直結の演劇公演が数多く催される生活支援型文化施設「コンカリーニョ」。

施設を運営するNPO法人コンカリーニョの理事長・齋藤氏から、開設の経緯や運営方法を始め、「民間が担う公共」という考え方、将来に向けての課題などについて、熱のこもったお話をいただきました。

「困難に立ち向かううえで最も大切なことは？」という学生からの問いに、「ともに歩み支え合う『仲間』がいること」を第一に挙げた齋藤氏。また、「やると決めたことはまず口に出し、表現していくこと」という言葉に、深くうなずく学生たちの姿がありました。

午後からは大通地区に移動して、札幌大通まちづくり(株)取締役統括部長・服部氏による講義

「大通地区のまちづくり/街歩きワークショップ」に臨みました。7班に分かれて1時間ほど街歩きへと出かけ、様々な発見やアイデアを持ち帰ってきた学生たち。ワークショップでは、都心部を訪れる人々の交流・ふれあいが発見になる仕掛けづくりなど、講師・関係者をうならせるユニークな発表が続きました。

翌・8月17日(土)・18日(日)は、海外学生がホームステイ体験、札幌圏学生は自習日。4日後に迫る活動報告会での「提案発表」に向けて、英気を養う週末となりました。

